

三里塚・ジェット闘争貫徹／「国鉄35万人体制」粉碎！

リムパック粉碎！ 2024 横須賀闘争 基地撤去！ たたかわれる



ものものしくかためられた米軍 基地前で抗議のシュプレヒコール

「リムパック反対・安保廃棄・自衛隊反対・基地撤去」の全国集会は、2月24日一万二千名の結集をもって横須賀臨海公園で開催された。勤労千葉は、2・16海上自衛隊館山航空基地(対潜哨戒ヘリを参加させている)への抗議闘争に引き続き、青年部を中心に各支部代表を含め九五名が参加し、反安保千葉実行委隊列の中軸を担い、機動隊の弾圧をはねのけ最後まで果敢に闘いぬいた。

リムパック演習(2/26-3/18) 開始に弾効の闘いひろがる！

集会は対岸の米海軍および自衛隊の基地を正面に見すえて、各労組・団体の旗が潮風にはためく中で開始された。

冒頭、反安保全国実行委員会を代表して牟礼事務局長が自衛隊のリムパック参加を弾効し、世界と日本の平和と民主主義に対する絶対に許せない挑戦であること、日本の労働者階級がこの露骨な軍事大国化への動きを阻止し、安保廃棄・自衛隊反対・基地撤去の闘いを今こそ大きく盛り上げていかねばならない。80春闘・参院選と結合させて反戦闘争をまき起していこう、と集会の方向性を提起した。

議長団に神奈川県評・東京地評・大阪反安保実行委・日本婦人会議よりの代表を選出したのち、主催者を代表して社会党飛鳥田委員長が挨拶した。

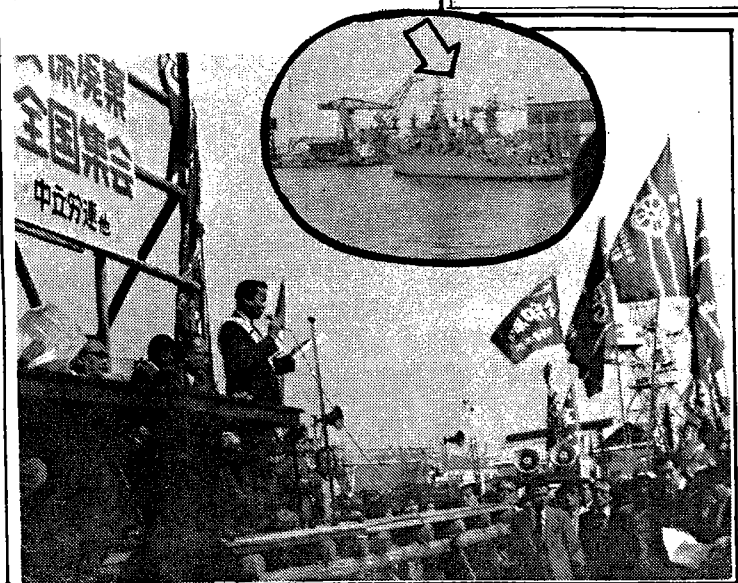
全国で反基地・反自衛隊の闘いをまき起そう

続いて全国各地での闘いを代表して、北海道・宮崎県・沖縄の代表からの報告がなされ、リムパック粉碎と固く結合して地域に大きな反戦闘争をまき起こしていく決意が表明された。さらに、「リムパック」に参加した自衛隊P2J対潜哨戒機の主力基地「神奈川県厚木で闘う厚木基地爆音防止期成同盟の鈴木委員長からの生々しい報告をうけたのち反対決議を採択した。

「リムパック」と運動して、「チーム・スピリット」米韓合同大演習を開始！

同日に、この「リムパック」に機を合わせて三月一日よりまたも大規模な米韓合同軍事演習「チ

全体集会に合流した勤労千葉。 対岸には武装したフリゲート艦が停泊。



ームスピリット80」が開始されようとしているが、この軍事演習は4月21日までの52日間という長期にわたって主に在沖繩米軍および米本土より緊急空輸される米軍が朝鮮半島に強行上陸する作戦を軸に、実に15万名を越す米・韓将兵が参加し、陸海空にわたり、38度線を越え北朝鮮・ソ連への核攻撃をも想定して展開される文字通り日米韓の軍事一体化の侵略実戦訓練である。

集会は「チームスピリット」に反対する特別決議を拍手で確認したのち、飛鳥田委員長の団結ガンバローをもって閉会、直ちに米軍基地前を横ぎる市内デモに出発した。この日権力は完全武装の機動隊で基地をビッシリと取り囲み市内を埋めつくすというものものしい警備を敷き、弾圧の機をうかがったのであるが、われわれは、隊列の先陣を担う千葉県実行委隊列の中軸として最後まで果敢なデモを闘いぬいた。この闘いの成果にふまえて三里塚軍事空港粉碎・二期工事阻止の闘いと固く結合し、軍事大国化阻止・侵略体制づくり粉碎の反戦闘争を一層強化していこう。

「本部」革マル反動分子の本質さらけだす！

なお、この日の集会で特記すべきことは、「本部」革マル反動分子の行動である。わざわざ「閉プロ青年部決起集会」を中止して関東・中部から動員狩り出しに専念したまではよいが、動員はガタ減り(実数四〇〇)で、集会場では右隅に位置した革マル学生部隊に仲良く寄り添い、文字通りの革マルの動労私物化の実態をさらけ出していたのである。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！